

インプラント入れ歯



1日で総入れ歯から自分の歯で噛めるようになる!

『インプラント+入れ歯=インプラント入れ歯』

入れ歯だと、しっかり噛めませんよね

特に総入れ歯や、それに近いぐらい歯を失った方の場合、入れ歯の悩みは尽きません。まず固いものや、芯のあるもの、ねばつくものなどは入れ歯が外れてしまうので噛めない事が多いと思います。世界で一番入れ歯を作る名人の歯科医師と歯科技工士が、最高の理論と技術で総入れ歯を作ったとします。その入れ歯の噛む能力は、健康な歯並びの何%ぐらいだと思いますか?なんと30%にも満たないそうです。やはりご自身の歯が一番ではありますが、無くなってしまったものは戻りません。



そこで入れ歯となる訳ですが、そもそも総入れ歯は歯ぐきへの吸着力のみでくっついています。入れ歯の場合、噛んだ時の感覚は歯ぐきへのみ伝わります。

健康な歯の場合、感覚は骨に伝わります。これが**“歯ごたえ”**です。日本人は食感の中で、この歯ごたえや歯触りを重視する傾向があります。リンゴやおせんべいを前歯で噛んだとき、なんだか爽快ですよ?

残念ながらほとんどの総入れ歯では、固いものを噛めません。噛む力よりも、歯茎との吸着力ははるかに弱くて外れてしまうのです。まして歯ごたえや歯触りなどは、感じる事ができません。

**ご自身の歯で噛んでいたころのように
固いものをバリバリ噛みたい、
歯ごたえや歯触りを楽しみたい…**

誰でもが当然思う気持ちです。

昔の歯科医療では、よく歯を抜いていました。歯科医学がまだ未熟で、当時ではなかなか歯を保存できなかったという背景があります。今総入れ歯の方の場合、ほとんどの方が今ならまだもう少し残せた歯も、抜歯になってしまった結果の総入れ歯なのです。

『インプラントオーバーデンチャー』という治療法

当グループのDr達は歯科医師として、せめてもそういった患者さんのお力になりたいと常々考えて、トップクラスの治療法を研鑽してまいりました。

現在の歯科医療で、もっとも健康な歯に近い感覚を持てる治療法は、インプラント(人工歯根)治療です。(インプラント治療の詳細は、無痛インプラントを参照ください。)

総入れ歯や、それに近いぐらいの歯を多く失った方に、このインプラントを用いた素晴らしい治療法があります。

インプラントオーバーデンチャー (インプラント入れ歯)

この治療法は、総入れ歯の場合、今お使いの入れ歯に2本ほどインプラントを足すだけで、ご自身の歯と同じ様に噛めるという画期的な方法なのです。具体的には、あごの骨に埋め込んだインプラントに、特殊なボタンの様なものを装着し、入れ歯側にもそのボタンとくっつく装置を埋めこみます。ケースによっては新たに入れ歯を作ったほうがよい場合もありますので、歯科医師とご相談ください。この治療法は、入れ歯の取り外しできるという利点と、あごの骨とがっちりつながるといふインプラントの利点を組み合わせ、**“良いとこ取りの優れた治療”**なのです!

さらにこの方法の凄い点は、“入れ歯のピンクのところ=床”を限りなく小さくくりぬいて減らすことが出来るのです!



金属で補強しているので丈夫です!

通常の入れ歯と違い、歯肉に吸着する力が必要ではないので、面積を小さくできるのです!

入れ歯は小さくなればなるほど、不快感が減ると言われています。つまり、総入れ歯で大きな入れ歯だった方が、あごの部分などをくりぬいた小さい入れ歯になって、しかもしっかりとリンゴやお肉、おせんべいなどをバリバリ噛めるようになるのです。大変高度な技術が必要とする手術ですが、当グループの歯科医師たちは、多くのインプラント手術に携わっており、自信を持って提供できる治療法です。総入れ歯やそれに近い部分入れ歯の方、ぜひ一度お問い合わせください!